

恵那市農業委員会だより

ええのお



恵那市公式
キャラクター
エーナ

第6号

【編集・発行】

平成30年8月

恵那市農業委員会

恵那市長島町正家一丁目1番地1

☎0573-26-2111



6月10日、上矢作町の石川農園のいちご園で冬春いちごのシーズン最終日に、地域の皆さんを招いていちごの片付け作業&無料いちご狩りのイベントが開催されました。今年で2年目となるこのイベントは、いちごの片付けを手伝っていただく代わりに、残ったいちごを好きなだけ収穫してもらうというもの。午前9時には近所の皆さん約30人が続々と集まり収穫開始。いちご園が用意してくれた箱に美味しそうないちごを山盛り収穫。片付けるにはもったいないほど沢山の大きないちごが30分足らずでほとんど無くなりました。その後一斉にいちごの片付け開始。あつという間に圃場のいちごは刈り取られ、一時間後には作業終了。参加されたお母さん方はみんなで作業することが楽しいと笑顔で取り組んでみえました。圃場主の石川さんは「作業を手伝ってくださることは本当にありがたい事。上矢作のお土産として皆さんが誇れるようにこれからも頑張ります」と意気込みを語りました。石川いちご園のイチゴは、地域の皆さんの応援の心がこもった味がしました。

Contents 目次

- 農ある暮らしを応援します……………2
- 『家族経営協定調印式』を行いました 3
- 頑張る農業者『ええのお』……………3
- 農業者年金に加入しました……………3
- 農地利用の最適化を推進します…4
- 「食」「農」情報ポータルサイト
「たべとる」……………4
- 恵那の味レシピ……………4

農ある暮らしを応援します

空き家と一緒に農地を「売りたい／貸したい」「買いたい／借りたい」方へ

恵那市農業委員会では、平成30年4月1日より「空き家バンク登録物件に付随した農地」を空き家と共に取得する場にかぎり、農地法3条（農地の所有権移転・賃借・使用貸借）による下限面積を特例で30アールから1アール（100㎡）まで引き下げることが可能になりました。

売買等が難しい空き家に付随した農地について、農地を取得しやすくすることで、遊休農地等の有効利用と新たな農業者の確保及びU・イーターンの移住促進を目的としています。

また、この制度に加え、恵那市独自のサービスとして、農ある暮らしを楽しむに役立てられるよう、家庭菜園から農業経営レベルまで就農しやすい環境作りを提供するため、恵那市・恵那市農業委員会・東美濃農業協同組合の三者が、支援連携の協定を結びました。

売りたい／貸したい方の主な条件は、

- ・農地に付随した空き家は、恵那市空き家情報活用制度（空き家バンク）に登録されていること
- ・農地は、空き家所有者名義の農地で、遊休農地等又は遊休化が見込まれる農地であること

買いたい／借りたい方の主な条件は

- ・農地のすべてを効率的に利用して耕

作すること

- ・周辺の農地利用に悪影響を与えないこと
- ・3年以上継続して耕作する旨の誓約書を提出すること

申請についての相談

地域の農業委員・推進委員又は恵那市農業委員会までご相談ください。

必要書類の入手

ご相談内容に応じて必要書類が異なりますので、まずはご相談ください。

なお、申請書は農業委員会事務局窓口にでお渡ししています。

《お問い合わせ》

◎空き家に付随した農地に関すること

恵那市農業委員会 ☎0573-2612111（詳細は恵那市HPでもご覧になれます）
<http://www.city.ena.lg.jp/kurashi/ife/house/tetsuduki/nouttukikakya/>

◎空き家バンクに関すること

恵那市くらしビジネスサポートセンター（恵那市移住定住推進室） ☎0573-1260226
<http://www.city.ena.lg.jp/kurashi/ife/house/chintai/akiyabank/>

ようこそ、農ある暮らし移住定住さん

今年度からスタートした空き家に付随した農地を特例で取得し、農ある暮らしをしたい移住定住者のための就農支援制度を受ける第1号さんが誕生しました。

第1号になられたのは、静岡県掛川市から恵那市串原へ移住した加藤さんご夫妻。

きっかけは、3年前。子育ても一段落し、のんびり田舎暮らしをしたいと恵那市の移住定住相談で紹介され、串原を訪れました。空気がきれいで自然に囲まれている、そして何よりも地域住民の方の暖かさに惹かれ、「ここに住みたい！」と移住を決断されました。しかし、恵那市は農地取得下限面積30アールに満たなければ農地の取得を断念しなければならず、今回の制度が開始されるのを待ち、念願の農地付き空き家を取得されました。



築63年の平屋の民家と24アールの農地を取得し、「農業を使わずに安心して食べられる米や野菜を作り、静岡に住む孫にもたばせてあげたい。今後はハーブなども植えて楽しみたい」と、農ある暮らしに意欲的です。



取得された農地付き空き家をバックに



左から 夏目農業委員長／加藤ご夫妻／中垣農地利用最適化推進委員



取得した農地で家庭菜園を楽しむ 加藤高敏さんと順子さん

「家族経営協定調印式」
を行いました

家族経営協定とは家族全員で農業経営
についての方針や役割・就業条件や環境
について取り決め、その内容を協定書と
して書面化するものです。

経営者： 額正一さん・美由紀さん夫妻
大井町 養蜂業

4月19日(木)、恵那市役所会議棟にて
額正さん夫妻の調印式が行われました。

経営者である額正さん夫妻は、名古屋
市にてそれぞれ仕事をもち、在住されて
いましたが、中津川市で養蜂業を営む美
由紀さんの父親の姿を見て、自然環境保
護・地域発展に役立つ仕事であることを
知り、父親の元で養蜂技術を習得されま
した。独立後、「はち工房こうけつ」を
設立し、

養蜂技術
の向上・
飼育群数
の拡大・
販売の向
上を目指
して意欲
的に頑張
っています。



大井町、長島町、東野地区担当農業委員／
農地利用最適化推進委員が立ち会いの中、
家族協定を結ぶ額正さん夫妻（前列）

頑張る農業者

ええのお

お客様との出会いに感謝して

新規就農者（ターソン就農） 西森裕記、絵美（山岡町馬場山田）

私たち夫婦は恵那市に移住して無農薬栽培で野菜とハーブの生
産を行っています。ハーブは栽培に関しての情報も少なく、手探
りで試行錯誤も多いですが、現在はメーカーとの契約栽培と、自
家生産のハーブティーを始めとした加工品づく
りに取り組んでいます。国内にハーブ農家
は少なく、輸入原料のハーブが多い中で、国
産の無農薬栽培であることが「付加価値」と
なり、栽培から加工まで一貫して行っている
作り手としての「こだわり」に対して評価を
いただいています。



ハーブ園

販売に関しては対面販売のマルシェや手づくり市を主に行って
います。お客様と直接お話しができることで「ハーブティーが苦
手でしたが、美味しく飲めました」、「野菜がすごく美味しかった」
といった嬉しいお言葉をいただきます。また、畑を見学したいと
いうご要望があれば、案内をしながら野菜の収穫体験などもして
いただき、自分で収穫したものを食べられると喜んでもらってま
す。お客様との交流を通じて、安心をお届けできることにも繋が
ると実感しています。

私たちの作った生産物を通じて喜びをお届けできるといふこと、
感謝の声をいただけることが、農業という仕事の大きな魅力であ
り、やりがいを見いだせる原動力にもなります。

最近では少しずつですが、市
内でハーブティーを販売してい
ただけるお店も増えてきました。
これからも、多くのお客様と出
会えることを楽しみに努めてい
きたいです。



西森さんご家族

農業者年金に加入しました

新規就農者 恵那市串原 中垣 幸司

1年目は、トウモロコシ、ブロッコリーを作
り、昨年から本格的にトマトを育てています。
動物に狙われたり、自然の威力でビニールが剥
がれたり、思うようにいかなかったこともあり
ましたが日の出と共に外に出て、太陽と共に働
く生活は心も身体も健康にしてくれました。串
原のトマト農家さんにたくさんお世話になり、
取り組めることを本当に楽しくやりがいを感じ
ています。

農業を始めるまでは会社員として長く働いて
おり、会社を守られている状態で、正直お金の
ことは会社任せ。しかし、農業は自営業です
のすべて自ら管理していかなければなりません。
これから子供も大きくなるにつれてお金も
必要になってきます。

「農業者年金」の制度を紹介していただき、
積立方式であり保険
料は控除されること
を伺い加入しました。
自然と共に生きる農
業は思いもよらぬこ
とも多々ありますが、
生活がきちんと成り
立つ魅力的な産業で
す。農業を楽しく続
けるためにも農業者
年金は魅力的な制度
です。



「農地利用の最適化を推進します」

推進します

5月30日(水) 岐阜県農業会議の松浦勇生さんを講師に招き、農業委員・農地利用最適化推進委員を対象に農地利用の最適化推進に関する研修会を行いました。

農業委員会の業務について、これまでの農地法に基づく権利移動の許可等に加え、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進といった「農地利用の最適化」の推進が必須業務に位置付けられ、「見る」から「話す(アプローチ)」活動へと変わった事などの説明を受けました。

農業委員会の機能を最大限に発揮するため、今後も農地パトロールや個別相談といった現場活動に積極的に取り組んでいきます。

農地、農業に関するご相談がありましたら、随時受け付けておりますので、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員までお声がけください。



松浦氏コメント

農業委員会では、農地が遊休化することなく、将来にわたって耕作する方に使われるよう3つの活動を強化しています。

1つ目は、認定農業者や農業法人に貸される農地を増やしていくこと。2つ目は、農地の遊休化の防止やなつてしまった遊休農地を再生していくこと。3つ目は、新たに農業をやりたい方に農地を貸していくこと。これら3つを地域ですすめていくのが、農業委員と農地利用最適化推進委員で



制度の説明をする岐阜県農業会議の松浦さん

す。ときには、委員からお話をさせていただくこともありますので、ご協力をお願いします。地域に頼られる農業委員会を目指し活動していきますので、農地のことなら(地元の委員に)是非ご相談下さい。

岐阜県農業委員会活動 優良表彰を受賞

岐阜県農業委員会活動

一般社団法人岐阜県農業会議が主催する優良表彰の新規参入の推進部門において、恵那市農業委員会が表彰を受けました。この部門は農地のあつせんや所有者とのマッチングを通じて農業参入の取り組みや顕著な成果をあげた委員会に贈られるものです。



「たべとる」

恵那市の「食」と「農」に関する情報を分かりやすく伝えるため、分散した情報を集約したポータルサイトを開設します。

恵那で生産される農産物、農と食に関わる人たち、地元食材をたべられるお店など、恵那の食と農をテーマに、食べたい人、これから農業を始めたい人に役立つ情報をお届けします。恵那市に届く、農業に関わるお知らせ・イベントもお伝えしていきます。毎日の日課として「たべとる」をのぞいてみてください。

■サイトの名前「たべとる」は、「農産物を買って(穫って)食べる。その恵みをいただいで栄養を摂る。」恵那の方言で「食べとる?」と健康を気にして人から人へ聞くような、そんな意味も込めて名づけました。



恵那の味レシピ

夏の定番野菜「トマト」でトマトケチャップ!

【作り方】

- 1 トマトを湯むきして、ヘタを取り除き乱切りにし、強火で10分位煮て、ザルにあげ裏ごしする。
- 2 裏ごしした果汁が半分位になるまで煮詰めて、すりおろした玉ねぎとニンニク、Aを加えて3分の2まで煮込んでいく。
- 3 最後に酢を加えて仕上げる。



トマトの栄養素

トマトの赤い色素のリコピンは生活習慣病などの原因となる活性酸素を除去する効果があります。いつもと違うレシピを取り入れて、おいしい旬の時期に地元のトマトをたくさんいただきます!

取材協力: 『恵那の味伝え隊』

【材料】

- トマト.....2kg 中10個
- タマネギ...20g
- ニンニク...6g
- 酢.....30cc
- A 砂糖.....40g
- 塩.....10g
- こしょう...小さじ1/2
- 香辛料
- 唐辛子.....1/5
- ローリエ...1/2